

< 講演録 >

京都大学基礎物理学研究所 研究会
京都大学未来創成学国際研究ユニット設置記念シンポジウム

日時 2015年8月6日(木) 19:45-19:51

場所 コープイン京都 202

司会 村瀬智子(日本赤十字豊田看護大学 教授)

話し手 茂木健一郎(株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 上級研究員)

篠原総一(京都学園大学 学長)

茂木健一郎先生 コメント

村瀬智子●そろそろお時間が近づいてまいりました。シンポジウム閉会にあたりまして、お二人の方々から、お言葉をちょうだいしたいと存じます。

お一人目は、ソニーコンピュータサイエンス研究所、シニア・リサーチャーの茂木健一郎様です。茂木様、どうぞよろしくお願いたします。

茂木●さきほど、京都は東京なんか関係なく、世界に直接発信しうるとおっしゃいました。先ほどから聞いていて、いまグローバル化のなかで、ますます京都大学の自由な雰囲気を感じました。

ぼくが湯川・朝永記念シンポジウムに来た時に、京都大学の当時の総長が「京都大学が湯川先生、朝永先生にしてあげられたことは、なにもしなかったということです」と言われたのが強烈に印象に残っています。学問的

自由をどう維持したらよいのかということが、いろいろな意味で大問題になっているわけです。ぼくが関わっている東京のほうの大学でも、ますます数値化、定量化、管理化みたいなことが進んでいるのが見えてきている。それだと、やはり学問の自由がなくなってしまうではないですか。

先ほど、総長をはじめ京都大学の先生方のお話をうかがっていて、ぜんぜん気に入らない感じがすばらしいなと思いました。総長がおっしゃったように、まさにジャングルのなかで、進化の過程でどういうものが生まれてくるのかということは、そう簡単に、サイテーションがどうのこうのとか、大学ランキングとか、そういうことではわからな



いわけなのです。やはり、それが生命原理ということだと思います。ひょっとしたら魑魅魍魎も渦巻いている、こういう学問の場が維持されているということに、たいへん感銘を受けました。村瀬先生、未来創成学はすばらしいですね。

未来創成について一言だけいわせていただければ、やはり脳の機能というのは未来を予測することだといわれています。未来を予測するためには、やはり過去のことを記憶して、解析しなければいけない。だから、デジャヴという現象も起こるのです。未来予測をする回路と記憶を司っている回路が非常に近いところにあるということが知られています。

ですから、学問というのは未来を予測して創成しようと思ったら、結局過去のことでも調べなくてはならない。そこで、やはり村瀬先生のアプローチである、歴史学と未来創成ということのつながりがみえてくるでしょう。これからこういう動きを期待したいと思います。

京都大学という自由の学問のジャングルのなかからどういう未来創成が生まれてくるのか、楽しみにしております。どうもおめでとうございます。

村瀬智子●茂木さま、ありがとうございました。

篠原総一先生 コメント

村瀬智子●最後は、京都学園大学学長の篠原総一様に、お言葉をちょうだいいたします。篠原さま、どうぞよろしく願いいたします。

篠原●村瀬先生、本日はおめでとうございます。

8月ということで戦争のことを思い出しました。もちろん、私は戦争を知っているわけではありません。いくら年をとっていても、まさか戦争を見たわけではないのですが、ノモンハンに行ったときに、塹壕にじっと閉じこもって自分の持ち場をきちんと守る兵隊と、あまりそういうことを考えずに野原を走りまわる兵隊がいました。塹壕から出てゆくわけです。ここにいらっしゃるみなさんは、塹壕から出て走りまわるタイプの先生方がたくさんいらっしゃると思います。たいてい、その人たちは死ぬんです。必ず弾に当たる。必ずとは言いませんが、ひょっとすると生き残ってすごい成果をあげる人が出てくるかもしれない。どなたが残られるかわ



かりませんが、ぜひ残っていただくようにがんばっていただきたいなと思います。村瀬先生、必ずうまく弾から外れてください。

もう一つ、お願いがあります。今日のシンポジウムのタイトルが「複雑システムにおける創造的破壊現象の原理に迫る」。これはなかなかいいタイトルであります。じつは、「原理を解明する」と書いていないところがたいへんよいところであります。解明されてしまうと、想定外のことが起こらないわけです。もう少し言いますと、ここにいらっしゃる先生方の研究テーマは、完全に消えてしまうわけです。したがって、明日から失業してしまいます。

今日、大野照文先生のお話で、京都大学の不効率を解決するために2億年かかるというお話がありました。これをしていると、山極先生はいつまでも大学総長として仕事を続けなければいけない。ぜひ、山極先生の仕事をなくさないように、ゆっくりゆっくりやっていただきたいと思います。

私は京都学園大学にいまして、さいわいなことにシステムが非常に単純でありますので、そういう苦しみは恐らくないと思っています。山極先生の苦しみを取らないように、ぜひ研究の成果が出ないようにがんばっていただきたいと思います。本日は本当におめでとうございます。

村瀬智子●篠原様、ありがとうございました。それでは、これをもちまして、京都大学未来創成学国際研究ユニット設置記念シンポジウムを閉会とさせていただきます。みなさま、ご協力まことにありがとうございます。